

うつくしま ふくしま 土地改良だより

No.526

平成28年6月



五色沼（耶麻郡北塩原村）

目次

●第58回通常総会	2	●非補助農業基盤整備資金について	12
●新役員紹介	3	●農業基盤整備資金の金利改定について	12
●平成27年度特別功労者及び 第57回土地改良功労者等の表彰式	4	●金沢調整池・東部森林公園 「さくらと水辺の回廊」ウォーキング	13
●全国水土里ネット第58回通常総会	6	●平成28年度 各種功労者知事表彰	13
●全国水土里ネット表彰式	7	●「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2016 作品応募要領	14
●協議会の総会開催	8	●平成28年度水土里ネット福島 組織機構	15
●平成27年度各委員会の開催	9	●新規採用職員紹介	15
●水土里ネット福島主催による研修会、説明会	10		

皆様と共に農村の復興のため、
歩んでいきます。

 水土里ネット福島

第58回通常総会

水土里ネット福島の第58回通常総会は、平成28年3月24日（木）に福島市「ベル・カーサ」で開催され、平成27年度特別功労者及び第57回土地改良功労者等表彰式の後、下記議案の審議が行われ、満場一致で可決承認された。

また、現在欠員となっている副会長理事を選任するため、理事互選会を開催し、会津北部土地改良区理事長の穴澤晃氏が選任された。

最後に決議（案）の朗読があり、満場の拍手で採択された。

第58回通常総会提出議案

議案第1号 平成26年度事業報告・財産目録及び収支決算の承認について

議案第2号 平成27年度事業実施状況及び一般会計・特別会計中間監査の結果報告の承認について

議案第3号 平成27年度事業変更計画及び一般会計・特別会計収支補正予算の専決処分の承認について

議案第4号 平成28年度賦課基準及び徴収方法について

議案第5号 平成28年度役員報酬について

議案第6号 平成28年度事業計画及び収支予算について

議案第7号 役員の補欠選任について



挨拶を述べる車田次夫会長



議長の安達土地改良区
野地久夫理事長

会長あいさつ

本日は、第58回通常総会を開催いたしましたところ、会員の皆様には、ご多忙にもかかわらず多数のご出席をいただき誠にありがとうございます。

また、福島県知事様並びに東北農政局長様はじめ、ご来賓の皆様には、年度末の大変ご多忙の中、ご臨席を賜り厚く御礼を申し上げます。

日頃、皆様方には、本会の運営はもとより、本県の農業農村の振興発展のため多大な御尽力をいただいておりますことに対し、あらためて深く感謝を申し上げます。

また、本日の総会におきまして、表彰を受けられます皆様には、これまでの永年にわたる土地改良事業への多大なる御功績と御労苦に対しまして、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、東日本大震災、そして原発事故からはや6年目を迎えました。

本会といたしましても、大震災及び原発事故からの復興加速化はもとより、TPP 対策としての農業の競争力を強化する農地の大区画化や暗渠排水による汎用化、農業水利施設等の長寿命化、防災・減災対策など、農業生産基盤の整備に必要な事業の実施を重点的に支援して参りたいと考えております。

また、地域の農業を守る要の組織である土地改良区の運営基盤の強化を推進するとともに、活力ある地域農業を実現していくための多面的機能支払の推進や、地域農業の再生に必要な農業水利施設の放射性物質対策の推進に努めて参りますので、今後とも、会員皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

しかし、ご承知のとおり、平成27年度の農業農村整備事業予算は、国費充当率が全国平均で60%程度、県内では、採択見送りや採択はされたものの、ほとんど予算が付かない地区もありました。

このようなことを踏まえ、二階俊博全土連会長が中心となって、平成28年度当初予算で、1千億円の増額を確保しようと全国の土地連で各都道府県選出の国会議員に働きかけながら要請活動を行ってきた結果、平成27年度補正予算と平成28年度当初予算で、合わせて約1千2百億円の増額を確保できました。

引き続き、本県農業の振興・発展のため、関係機関と連携のもと、予算獲得に向けた要請活動を実施して参りたいと考えておりますので、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

なお、本日は平成28年度の事業計画及び収支予算など、7件の重要な議案を提出しておりますので、慎重なるご審議のうえ御議決を賜りますようお願い申し上げます。

決 議

農業・農村は、農業従事者の高齢化、減少とともに、後継者不足等による農地、農業用水の管理や営農の継続への影響など、多くの課題に直面している。
 加えて、東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故による被災地域では、早期の復興・再生を強く望んでいる。
 農業農村整備は、地方創生、農業の競争力強化、国土強靱化といった政策課題への対応において重要な役割を果たしており、持続可能な強い農業の実現のためには、大区画化や汎用化等の農地整備、適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要である。
 また、食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、農地・農業用水等の地域資源を良好な状況で次世代に継承していく責務がある。しかしながら、この責務の遂行に不可欠な農業農村整備関係予算は、平成二十二年度に大幅に削減され、その後徐々に回復しているものの削減前の予算水準には戻っていない状況である。
 農業・農村政策の改革を加速化するためには、地域の要望に十分に満たす予算額を確保することが必要である。

本県農業が今後とも持続的に発展していくためには、各種の農業・農村の振興に資する施策の推進とともに、農業農村整備事業の計画的・安定的実施が必要不可欠である。
 このため、現下の農業農村の現状を踏まえ、課題解決への施策が展開されるよう、左記事項について、関係機関へ強く要望することを総会の名において決議する。

記

- 一、平成二十八年度からの東日本大震災復興・創生期間を踏まえ、農地・農業用施設の復旧や農地の大区画化、ため池を含む老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化等の防災・減災対策を着実に推進すること。
- 一、農業用ため池等を含む農業水利施設の放射性物質対策は、多くの市町村で福島再生加速化交付金制度の活用を予定していることから、十分な実施期間を確保し、復興・再生の加速化を図ること。
- 一、食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、強い農業を展開するため、水田の大区画化や汎用化を推進すること。
- 一、健全な農業生産活動に必要な水路、ため地等の農業用施設を、今後とも適切に維持管理していきけるよう土地改良区の運営基盤の強化を図ること。
- 一、多面的機能支払制度の推進に当たっては、推進協議会や土地改良区がこれまで培った技術経験などを十分發揮できるように、十分な予算を確保すること。
- 一、TTP協定において、本県が未だ復興途上であることを踏まえ、TTP協定政策大綱など、万全な国内対策を講ずること。
- 一、農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、土地改良施設の維持管理費の低減等に資するため、小水力発電等を推進すること。
- 一、これらの政策推進のために必要な農業農村整備関係予算を確保するとともに、所要の地方財政措置を講ずること。

平成二十八年三月二十四日

福島県土地改良事業団体連合会
第五十八回 通常総会

新 役 員 紹 介



副会長

穴澤 晃 氏
(会津北部土地改良区理事長)



理 事

佐藤 秀雄 氏
(伊達西根塚土地改良区理事長)



理 事

渡部 英敏 氏
(会津美里町長、会津宮川土地改良区理事長)

平成27年度特別功労者及び 第57回土地改良功労者等の表彰式

第58回通常総会において、永年、土地改良事業に功績があった特別功労者2名、土地改良功労者16名、永年勤続職員5名に対し、車田次夫会長より表彰状授与及び記念品の贈呈が行われた。

平成27年度特別功労者表彰

会津美里町 山田忠彦氏
国見町 賀藤貞氏



山田忠彦氏（前 本会理事）



賀藤貞氏（前 本会理事）

第57回土地改良功労者表彰

1. 土地改良功労者

(1) 役員

福島市土地改良区副理事長

福島市土地改良区総務担当理事

伊達西根堰土地改良区監事

東根堰土地改良区理事長

安積疏水土地改良区理事長

郡山市東部土地改良区理事長

高郷土地改良区理事長

南相馬土地改良区副理事長

磐城小川江筋土地改良区副理事長

長南太一氏

菊地常夫氏

八島藤市氏

長谷川康夫氏

本田陸夫氏

小川柵一氏

和田清次氏

境勝明氏

新妻太十氏

(2) 職 員

安積疏水土地改良区財務課課長
 社川沿岸土地改良区会計主任
 矢吹土地改良区会計主任
 阿武隈川上流土地改良区事務局長
 猪苗代町土地改良区事務局長
 会津大川土地改良区会計主任
 新地町土地改良区主幹兼事務局長

三本木 伸 光 氏
 緑 川 いずみ 氏
 泉 川 さよ子 氏
 宮 田 洋 氏
 渡 部 淳 夫 氏
 植 松 恵 子 氏
 荒 貞 雄 氏

2. 永年勤続職員 (20年)

総務企画部総務課課長補佐
 農村振興部農村整備課主任主査
 農村振興部農地・水・環境保全向上対策室室長補佐
 農村振興部環境整備課主任主査
 農村振興部環境整備課主査

斎 藤 佳 久 氏
 牛 坂 誠 一 氏
 三 浦 功 司 氏
 菅 野 勉 氏
 長 澤 幸 江 氏



全国水土里ネット 第58回通常総会

去る3月25日（金）午後1時より東京都千代田区の「都市センターホテル」において、全国土地改良事業団体連合会第58回通常総会が開催された。

総会は、二階会長の挨拶で始まり、岩手県土地改良事業団体連合会の及川会長が議長に選出され議事に入った。

第1号議案から第11号議案までの11案件が上程され、全て原案通り承認可決された。議事に引き続き決議案が朗読され、原案通り採択承認となり総会の一切が終了した。



決 議

昨年十月、T P P協定交渉が大船合意され、この二月には、参加十二ヶ国が協定に署名を行った。この協定は、T P P協定による政府の計算によると、わが国にメリツがある一方、将来的に農産物の貿易の自由化による農産物の輸入増加が懸念される。農産物の貿易の自由化による農産物の輸入増加が懸念される。農産物の貿易の自由化による農産物の輸入増加が懸念される。

水と土は、力強い農業の基盤を築いた。食料の安定供給や、農村の多面的機能を発揮させるため、先人達がいかに努力を凝らしたかを思い起こす。農村の多面的機能を発揮させるため、先人達がいかに努力を凝らしたかを思い起こす。農村の多面的機能を発揮させるため、先人達がいかに努力を凝らしたかを思い起こす。

二〇二八年度当初予算を合わせ、前年度より一億二千二百二十二億円の増額を実現することが出来た。二〇二八年度当初予算を合わせ、前年度より一億二千二百二十二億円の増額を実現することが出来た。二〇二八年度当初予算を合わせ、前年度より一億二千二百二十二億円の増額を実現することが出来た。

一方、農村は、土地持ち非農家や耕作放棄地の増加、資源管理の組織化等の多くの課題に直面している。農村は、土地持ち非農家や耕作放棄地の増加、資源管理の組織化等の多くの課題に直面している。農村は、土地持ち非農家や耕作放棄地の増加、資源管理の組織化等の多くの課題に直面している。

こうした状況の下、政府は総合的なT P P関連政策大綱を策定し、平成二十七年年度補正予算にT P P対策を盛り込むこと、農業農村整備予算を確保すること、さらに、T P P対策については、現場ニーズに十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること、さらに、T P P対策については、現場ニーズに十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること、さらに、T P P対策については、現場ニーズに十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること。

抱い手への農地集積、コスト削減、高品質・高収益な作物の生産等、農業の構造改革を加えて推進すること。その際、中山間地域等においても地域特性を踏まえた基盤整備の整備により農業経営の持続的な発展が可能となるよう十分配慮すること。

一 東日本大震災を始めとする災害からの一日も早い復旧・復興を進めるとともに、農耕地域の強靭化を図る。水田の大區画化や風用化、畑地化、細地・樹園地の高機能化等の対策を着実に実施すること。その際、中山間地域等においても地域特性を踏まえた基盤整備の整備により農業経営の持続的な発展が可能となるよう十分配慮すること。

一 多面的機能支払制度の推進に当たっては、地域協議会や水土里ネットがこれまで培った技術、経験なども十分活用し、効果的・効率的な推進に貢献すること。その際、中山間地域等においても地域特性を踏まえた基盤整備の整備により農業経営の持続的な発展が可能となるよう十分配慮すること。

一 農地中間管理事業の推進に当たっては、水土里ネットが有する技術、経験、地固め等に関するノウハウを積極的に活用し、農地中間管理事業の推進に貢献すること。その際、中山間地域等においても地域特性を踏まえた基盤整備の整備により農業経営の持続的な発展が可能となるよう十分配慮すること。

一 農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減に資するため、構造改革の推進による組合員の減少や重資料金値上げなど、水土里ネットの運営基盤が大きい課題の維持など水土里ネットの運営基盤の強化を図ること。

平成二十八年三月二十五日

全国土地改良事業団体連合会 第五十八回通常総会

全国水土里ネット表彰式

全国水土里ネット第58回通常総会後、「シェンバツハ・サボー」(東京都千代田区平河町)において、全国水土里ネット表彰式が、全国から受章者並びに各水土里ネットの会員が多数出席して開催された。

二階全国水土里ネット会長の式辞、森山農林水産大臣の祝辞の後、表彰式が行われ、本県からは土地改良功労者表彰の団体の部で3団体、個人では5名の方々が表彰された。

また、農業農村整備コンクール表彰において、猪苗代町の農事組合法人ニューわくわくファームが農業生産基盤整備部門で長坂地区が表彰された。



式辞を述べる二階会長



祝辞を述べる森山農林水産大臣

第57回全国土地改良功労者等表彰

■団体表彰

【金賞】 山都町土地改良区

【銀賞】 鹿島町土地改良区
会津坂下町只見川土地改良区



山都町土地改良区 遠藤敏雄事務局長 (右から2番目)



鹿島町土地改良区 渡辺一成理事長 (右)

■個人表彰

【役員】 郡山市河内土地改良区理事長	遠 藤 喜 一 氏
【職員】 安積疏水土地改良区事務局長	巴 恵美子 氏
安積疏水土地改良区主幹	遠 藤 正 一 氏
阿賀川土地改良区事務局長	赤 崎 政 司 氏
広野町土地改良区事務局長	酒 井 京 子 氏



阿賀川土地改良区事務局長 赤崎政司氏 (左から1番目)
安積疏水土地改良区主幹 遠藤正一氏 (左から2番目)
安積疏水土地改良区事務局長 巴恵美子氏 (左から3番目)



広野町土地改良区事務局長 酒井京子氏

農業農村整備コンクール表彰

■農業生産基盤整備部門（長坂地区）

農事組合法人ニューわくわくファーム



農事組合法人ニューわくわくファーム
代表理事 黒澤一氏

協議会の総会開催

福島県農地等集団化推進協議会 役員会・第52回通常総会

平成28年3月18日（金）、福島県農地等集団化推進協議会の役員会・第52回通常総会が福島県土地改良会館（福島市）において、開催された。

役員会では、総会提出議案が承認された後、福島県農業振公社 塚本課長が講師となり、「土地改良事業と農地中間管理事業」と題し、研修会が行われた。

総会では、平成27年度農地等集団化事業優良地区及び功労者の表彰等が行われ、その後議事に入り上程された4議案が審議され、全て承認された。

■平成27年度福島県農地等集団化推進協議会会長表彰

【優良地区】	大槻地区	田村市
【功労者】	吉田 忠作	田村市
	佐藤 慎子	駒形土地改良区
	佐久間 恵子	そうま土地改良区



平成27年度各委員会の開催

平成27年度農道台帳管理委員会

平成28年2月9日（火）、福島県土地改良会館（福島市）において平成27年度農道台帳管理委員会が行われた。

議事では、まず報告事項として、平成26年度決算報告について事務局からの説明と質疑がなされ、続いて協議事項では平成27年度決算（中間）、平成28年度予算（案）など提出された5議案について審議され、全て承認された。

平成27年度福島県管理円滑化事業推進委員会

平成27年度福島県管理円滑化事業推進委員会は平成28年3月11日（金）、福島県土地改良会館（福島市）にて行われた。

当委員会は地方連合会が行う土地改良施設管理円滑化事業（土地改良施設の診断及び管理指導と土地改良事業に関する苦情・紛争の対策に係る業務）についての内容の検討を行うものとして設置されており、今回は平成26年度収支決算報告、平成27年度事業実施状況、平成28年度事業計画（案）などの6議案について審議が行われ、全て議案の通り了承された。



平成27年度福島県換地等強化事業推進委員会

平成27年度福島県換地等強化事業推進委員会は平成28年3月11日（金）、福島県土地改良会館（福島市）にて行われた。

当委員会は地方連合会が行う土地改良換地等強化事業（換地技術者等に対する講習及び研修、換地事務に関する指導、農地利用集積推進対策の実施など）についての内容の検討を行うものとして設置され、今回は平成26年度収支決算報告、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画（案）などの5議案について審議が行われ、全て議案の通り了承された。



水土里ネット福島主催による研修会、説明会

平成27年度 土地連南会津支部研修会

平成28年2月17日（水）、18日（木）の両日、南会津地方広域行政センター（南会津町）において「平成27年度 土地連福島南会津支部研修会」が行われた。

研修会には、管内の町、土地改良区の担当者等約25名が参加して、初日は「多面的機能支払交付金」、「中山間地域総合整備事業」、「経営体育成基盤整備事業」等の事業制度をはじめ、小学校を対象とする体験学習「畑の学校・水土里を育む普及促進事業」の説明が、講師である福島県南会津農林事務所の方々より、説明を受けた。本会からも「多面的機能支払交付金にかかる取り組み」等の情報提供を行った。

2日目は、福島県南会津農林事務所内において、農業農村整備事業及び土地改良区の運営にかかる各個別の懸案事項について協議した。



平成27年度 技術力向上事業 「実践技術研修会」

平成28年3月1日（火）、福島グリーンパレス（福島市）において平成27年度 技術力向上事業「実践技術研修会」が行われた。

当研修は、水土総合強化推進事業（技術力向上事業）において土地改良区の役職員等に対し農業農村整備事業に関する基礎的、専門的知識の習得を図ることにより技術力向上に資することを目的に地方連合会が実施している事業である。

当日は、県内の土地改良区等の担当職員等約50名が参加し、「福島県の農業農村整備事業を取り巻く情勢について」、「福島県における農業農村整備事業の実施状況について」、「土地改良施設等のインフラ長寿命計画について」、「福島県の気象と農業」などについて講師である東北農政局農村振興部設計課、福島県農村基盤整備課、福島県農業総合センター会津地域研究所の方々より説明をいただいた。



土地改良施設維持管理適正化事業説明会

平成28年3月22日（火）、「土地改良施設維持管理適正化事業説明会」が福島県土地改良会館（福島市）で行われた。

当説明会は、翌年度新規加入および工事実施を予定する団体を対象に円滑な事業実施を図る目的で、毎年行われており、今回は新規、実施に関係する21団体の担当者が出席した。

当日は事業に係る留意点、平成28年度に新規加入および工事実施を予定する地区の事務手続きの流れとスケジュールを中心に説明がされ、その他に実施計画の変更申請、交付決定前着手届の手続きや工事実施翌年に行う交付金に係る消費税相当額の報告等の手続き等についても併せて説明が行われた。

また、出席した団体に対し施設の定期的な整備補修の必要性や整備改善による管理の効率化及び労力節減を図っていく上で、今後も継続的な新規加入の検討をお願いし、事業推進の啓蒙を図った。



福島県農業集落排水事業推進協議会

平成28年5月24日（火）、「福島県農業集落排水事業推進協議会第25回通常総会」が福島県土地改良会館（福島市）で行われた。本協議会は、福島県内の市町村等50会員を有し、農業集落排水事業実施に係る地区相互間の緊密な連絡と事業の円滑化を図ることを目的としている。

総会では、喜多方市下水道課長の齋藤進氏が議長となり、昨年度の事業報告、収支決算、今年度の事業計画、収支予算及び役員改選について議案が上程され承認された。新会長には、西郷村長の佐藤正博氏が就任した。

また、午後からは、福島県農林水産部農村基盤整備課の円谷正人主任主査が講師となり、「農業集落排水事業の現状と施設長寿命化の重要性」について講演が行われた。



非補助農業基盤整備資金について

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国の補助を受けないで、かんがい排水事業やほ場整備、客土などの農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合のほか、土地改良施設の維持管理のための整備補修、土地改良区事務所の建設・改修などに対し、農家負担の軽減を目的に低利で融資する資金です。

■対象となる事業種類

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、農地造成、維持管理、防災、農地保全、農業集落排水、埋立、干拓、干拓関連、床締、心土耕、石れき除去、酸性きょう正、飲雑用水、畦畔整備、牧野の改良・造成、牧野利用施設整備

○維持管理事業の主な用途

施設の種類	維持管理事業の例示	施設の種類	維持管理事業の例示
揚（排）水機場	揚水機、電動機の分解・補修 防塵装置の塗装・補修 通信情報用施設の補修	畑かん施設	揚水機、空気圧縮機、撒水施設等の機器類の補修 送水管・給水栓・電動弁の補修・更新 敷砂利、橋梁の塗装
ダム、頭首工、水門 ため池	門扉・開閉装置の補修・塗装 フェンスの新増設等 取水ゲート、土砂ゲート、開閉装置等の塗装・補修 堤体の補修、堆積土砂のしゅんせつ 操作室の建屋、フェンス等の補修 観測・通信用施設の補修	農道 施設管理施設	基礎・建屋・フェンス等の補修 フェンスの新増設等 観測・自動制御機器類の取得・更新 通信・警報装置の新増設等
用排水路	護岸・床張の塗装・補修 分水工・落差工等の塗装・補修 路線の一部の改修・しゅんせつ 管水路の破損部分の交換・補修 ジョイント部分の補修	土地改良区の事務所 車両・船舶・器具等 調査費	事務所の新増設、補修（維持管理事業を行っている場合に限る。） 取得、更新（維持管理事業遂行上、必要不可欠なものに限る。） 水利権更新に伴う調査 維持管理計画書や土地改良施設台帳の更新のための調査

※ ただし、点検整備等経常的なものは対象外

○農業集落排水事業の主な工事内容

- ・宅地内排水管敷設、屋内排水管敷設、集水ます、合接ますの設置
- ・トイレの改修工事
- ・浴室の改修工事（限度額100万円）、台所の改修工事（同50万円）、洗面所の改修工事（同10万円）

■貸付条件

償還期限	最長25年（うち据置期間 10年以内）
融資限度額	負担額の100%まで融資が可能。（ただし、1件当たり最低額は50万円）
利率	一般0.1%（平成28年5月25日現在）

農業基盤整備資金の金利改定について

株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金について、下記のとおり平成28年5月25日付で改定されたのでお知らせします。

◎株式会社日本政策金融公庫

（単位：%）

区分	融資期間にかかわらず	改定前				融資期間にかかわらず	改定後			
		融資期間別（一例）					融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年	
都道府県営補助残	0.25	—	—	—	—	0.25	—	—	—	—
団体営補助残	0.10	—	—	—	—	0.10	—	—	—	—
非補助一般	0.10	—	—	—	—	0.10	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.10	—	—	—	—	0.10	—	—	—	—
災害復旧		0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10

（H28.5.25 現在）

金沢調整池・東部森林公園 「さくらと水辺の回廊」ウォーキング 春の風を感じ、散策しながら農業用施設を学ぶ

平成28年4月16日（土）、国営郡山東部地区管理体制整備推進協議会主催により、郡山市東部土地改良区が管理する金沢調整池と郡山市東部森林公園を散策する「さくらと水辺の回廊」ウォーキングが開催された。

今年で5年目を迎え、当日は県内から約100人が参加し、水辺の景観と歩道に植えられた桜の美しい花をめでながら約5キロのコースを散策した。

このウォーキングは土地改良施設の見学とあわせ、施設が有する景観形成、親水機能、防火用水機能などの多面的機能をウォーキングを通し理解を深めてもらうことを目的に行われている。

参加者には記念に美しい花をつけたサクラとモモの枝が配られ、昼食時には地元の食材で作ったなめこ汁とネギ焼きが振る舞われ、疲れた体を癒やした。



平成28年度 各種功労者知事表彰

福島県は、5月3日付けで平成28年度 各種功労者知事表彰の受賞者を発表した。

本会関係者からは、本田陸夫氏（安積疏水土地改良区理事長）、堀内治氏（会津若松市湊土地改良区理事長）、松崎仙助氏（前磐城小川江筋土地改良区理事長）の3名が受賞された。

○土地改良功労



安積疏水土地改良区理事長
本田 陸夫 氏



会津若松市湊土地改良区理事長
堀内 治 氏



前磐城小川江筋土地改良区理事長
松崎 仙助 氏

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2016 作品応募要領

1. 応募のきまり

- (1) 応募作品：小学校以下（クラスや学校単位での共同作品も可）
- (2) 作品のテーマ：「新発見！ぼくのわたしのふるさと」
「田んぼ」「ため池」「農業用水路」などの風景や、大切な水路を守っている人たち、農村や農業に古くから伝わる祭りや風習、郷土料理、様々な農作業風景など。題材の選択に作者ひとりひとりの発見や感動が表現されるよう、グループで応募される場合には、題材や構図の統一はなるべく避け、各自が自由に選択するよう心がけて下さい。共同による大型作品も募集しております。
- (3) 四つ切り画用紙サイズ（38cm×54cm）以上。ただし、最大は、90cm×190cmとし、作品の厚みは3cm以内とします。
- (4) 作品の画材は自由です。
- (5) 応募作品は未発表のものに限ります。
- (6) 応募作品には、応募用紙に必要事項を記入し、1点ずつ作品の裏面、右下スミにはがれないように貼り付けて下さい。共同作品の場合には、代表者名、全員の名前も明記し、応募用紙の脇に貼り付けて下さい。
個人の場合は、画用紙裏面に応募用紙のほか直接本人名を記入するようにして下さい。
応募用紙は、案内チラシ及びホームページ「新・田舎人フォーラム」<http://www.inakajin.or.jp/>（6月上旬以降掲載予定）をご利用下さい。
- (7) 応募締切：平成28年9月12日（月）
- (8) 応募先：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-10 日本経済広告ビル6F
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展事務局
TEL：03-3292-5541 FAX：03-3292-5089
E-MAIL midori@reception-desk.jp

2. 賞 入賞20点、入選約150点（全国選考）、参加団体賞（地域別選考）

3. 入賞・入選の発表と展示

- (1) 入賞・入選作品の発表は、事務局または都道府県水土木里ネットから本人又は、代表者にお知らせします。（10月中旬）
- (2) 入賞作品授賞式
全国選考約20作品の入賞者の親子各1名を招待し、授賞式を行います。
日時：平成28年11月26日（土） 場所：東京都美術館講堂
- (3) 入賞・入選作品表示
日時：平成28年11月下旬～平成29年3月
場所 ①東京都美術館 平成28年11月26日（土）～12月3日（土）
②東京都庁南展望室 平成29年1月11日（水）～13日（金）
③「エコプロダクツ2016」（東京ビッグサイト）平成28年12月8日（木）～10日（土）

■平成27年度の入賞作品



日本政策金融公庫農林水産事業本部長賞
『おとうさんがつくったきゅうり』
須賀川市立 西袋第一小学校
小枝 瑞季



入選作品
『おいしいお米ができたよ』
南会津町立 田島小学校
星 真緒



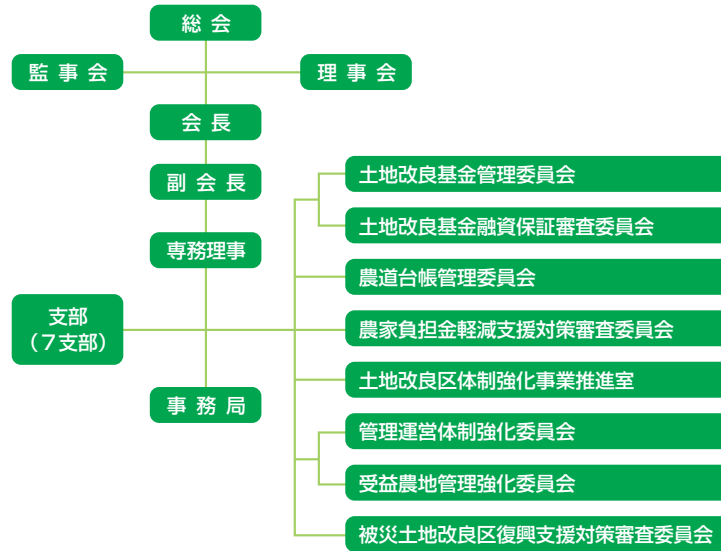
入選作品 『春の田んぼの準備』
会津若松市立 河東学園小学校
相澤 宗典



入選作品 『黄金色の宝物』
会津若松市立 城西小学校
小瀧 悠翔

平成28年度水土里ネット福島 組織機構

組織機構



事務局機構及び事務分掌



よろしくお願ひします!!

新規採用職員紹介

平成二十八年四月一日付



ごとう つねき
後藤 庸貴
農村振興部技監



すずき もとかず
鈴木 元和
環境整備課主査



いしくろ よしあ
石黒 吉亜
企画指導課技師



なみおか ゆうた
浪岡 裕太
農村整備課技師



県内の土地改良区ホームページをご紹介します。

- 福島市土地改良区 <http://fukutokai.web.fc2.com/>
- 伊達西根堰土地改良区 <http://sky.geocities.jp/datenishine/>
- 安積疏水土地改良区 <http://www.asakasosui.jp/>
- 矢吹原土地改良区 <http://yabukihara.org/>
- 会津北部土地改良区 <http://www.aizuhokubu.or.jp/>
- 会津宮川土地改良区 <http://www.aizumiyakawa.jp/>
- 雄国山麓土地改良区 <http://www.akina.ne.jp/~oguni.36/>
- 猪苗代町土地改良区 <http://www8.ocn.ne.jp/~inadokai/>
- 南相馬土地改良区 <http://midorinet-minamisoma.jp/>
- 請戸川土地改良区 <http://www.ukedogawa.jp/>
- 愛谷堰土地改良区 <http://www8.plala.or.jp/aiya/>
- 鮫川堰土地改良区 <http://www.ac.auone-net.jp/~samegawa/>

土地連の登録内容及び有資格者数

土地連の登録内容 (H28.6.1現在)

登録内容	登録年月日・登録番号
ISO9001:2008/JISQ9001:2008 マネジメントシステム登録 	H27.2.16付更新 登録証番号 JQA-QMA13143
建設コンサルタント	H27.12.3付更新 建27第7079号 農業土木部門
一級建築士事務所	H24.4.9付更新 第11(404)1975号
計量証明事業登録	H7.7.3付登録 第環34号
測量業者登録	H27.9.7付登録 登録第(2)-032811号
浄化槽保守点検業者登録	H27.5.14付更新 福島県知事登録第1353号
農業農村整備事業 発注者支援機関認定	H28.3.31付認定 第1607号

各種有資格者数 (H28.6.1現在)

NO	資格名称	資格人数
測量業者部門		
1	測量士	20
2	測量士補	21
3	GIS 1級	1
建設コンサルタント部門		
4	技術士(農業部門)	6
5	技術士補(農業部門)	20
6	技術士補(環境部門)	1
7	RCCM(農業土木)	7
8	RCCM(下水道)	1
建築コンサルタント部門		
9	1級建築士	1
10	2級建築士	1
計量証明事業部門		
11	環境計量士	1
換地部門		
12	土地改良換地士	8
13	土地改良補償業務管理者	5
集落排水、維持管理部門		
14	上級農業集落排水計画設計士	6
15	農業集落排水計画設計士	1
16	浄化槽技術管理者	16
17	浄化槽管理士	16
各部門関連資格		
18	コンクリート診断士	1
19	農業水利施設機能総合診断士	1
20	農業水利施設補修工事品質管理士	2
21	農業農村地理情報システム技士	1
22	土地改良専門技術者	6
23	1級土木施工管理技士	7
24	2級土木施工管理技士	1
25	1級建築施工管理技士	1
26	1級電気工事施工管理技士	1
27	第三種電気主任技術者	1
28	1級管工事施工管理技士	1
29	2級管工事施工管理技士	1
30	浄化槽設備士	5
31	公害防止管理者	1

お知らせ：「農家のみなさんへ」の放送内容は、水土里ネット福島のホームページに掲載しております。

ホームページアドレス <http://www.midorinet-fukushima.jp> にて、ご愛読くださるようお願い致します。

農業農村整備の調査測量設計・農業集落排水事業・換地業務・確定測量・その他土地改良事業のご相談は



福島県土地改良事業団体連合会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地